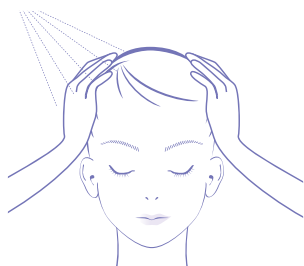


1 予洗い

まずは、お湯でスタイリング剤や皮脂汚れを十分にすすぎます。



2 2シャンのスメ

シャンプーはしっかり泡を立て、指の腹でやさしく丁寧に洗います。1シャン目は髪に残っているスタイリング剤やホコリなどの汚れを落とします。2シャン目は頭皮の汚れを落とします。
*目的が違うためシャンプーは2回行うことをおすすめします。

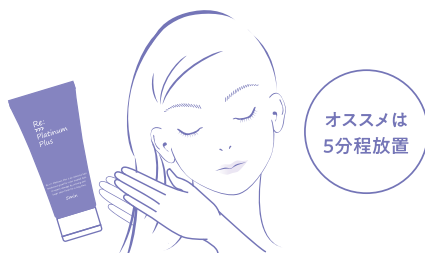
※使用量は髪の長さや個人差に応じて調節してください。



3 リ：プラチナム プラスで集中ケア

①髪の水気を切り、リ：プラチナム プラスを髪の中から毛先までつけた後、根元から毛先に指を通して馴染ませ、数分放置します。
②トリートメントが残らないよう、丁寧に洗い流します。

※使用量は髪の長さや個人差に応じて調節してください。



オススメは
5分程放置



同じブランドのリ：プラチナム シャンプーがおすすめです。



リ：プラチナム プラスによる集中ケアを終えたら、通常のリ：プラチナム トリートメントに切り替えて、ケアを行います。

recommend hair care



Re: >>>



KASUI

muts
hair touch

Re:
>>>
Platinum
Plus



ヘアカラーの色持ちが気になるあなたへ…

ヘアカラー後の1 weekで行う
キューティクルケア。

原因はヘアカラー後の残留アルカリ剤!!

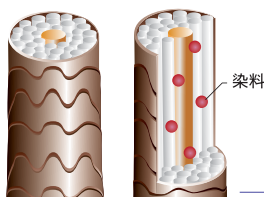
ヘアカラーやパーマ後のダメージが気になったり、ヘアカラーの色持ちがもっと続いたら…と思いませんか？



理想的な毛髪状態

キューティクル 閉 = 理想的な毛髪状態

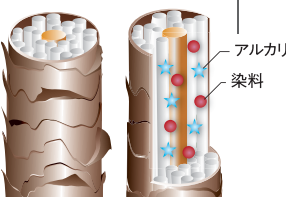
毛髪の等電点 (もっとも安定したすこやかな状態) は、pH4.5~5.5の弱酸性。ヘアカラー・パーマ後は残留アルカリ剤を中和し、等電点に近づけることが理想的。



一般的なヘアカラー・パーマ後の毛髪状態

キューティクル 開 = バサつき・ヘアカラー褪色の原因

一般的にヘアカラー・パーマ後は毛髪がアルカリ性に傾くため、強めの酸でpH調整し、弱酸性へ近づけます。そのため、キューティクルは一時的に閉じるものの、残留アルカリ剤により再びキューティクルが開き、毛髪成分が流出してバサつきやヘアカラー褪色の原因に。



実は地肌のpH値は、地肌フローラにも影響が…



地肌には皮膚常在菌と言われる様々な菌が常に棲んでいて、休まずに肌の健康のために働いています (地肌フローラ)。その中でも悪玉菌の一種である黄色ブドウ球菌は、弱アルカリ性環境を好む傾向があり、肌や髪がアルカリ性に傾くと増殖してしまいます。だからこそヘアカラーやパーマ処理後は、髪だけではなく肌が傷みにくいpH値へと調整することが大事です！

“キレイで長持ち”のカギはヘアカラー後の1週間！

ヘアカラーやパーマヘアのスタイルをキープするためには、メニューを受けた後の1週間がカギとなります。ヘアカラーの褪色やダメージヘアの原因となる残留アルカリ剤を中和することで、キューティクルが整い、美しいツヤ髪へと導きます。

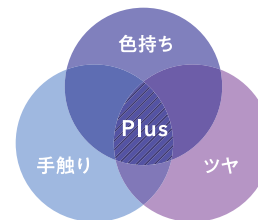


1weekで行うキューティクルケア。

ヘアカラー後の残留アルカリ剤による褪色やダメージを抑えます。

ヘアカラーやパーマヘアのスタイルキープは、サロン帰ってから1週間のホームケアで決まります。髪内部に残ったアルカリ剤を中和し、髪本来の等電点 (もっとも安定したすこやかな状態) へ。

Plusでこんなにプラス



アジュバンリ：プラチナム プラス

集中トリートメント

90g ¥1,540

※表示価格は希望小売価格・税込価格です。



1 アスパラギン酸

毛髪コンディショニング成分

アミノ酸の一種で、ヘアカラーやパーマ後の毛髪内に残留したアルカリ剤を中和し、ヘアカラーの褪色やヘアダメージを抑えます。保湿作用により仕上がり感にツヤを与えます。

2 マルチペプチド (ジラウロイルグルタミン酸リシンNa)

毛髪補修成分

天然脂肪酸とアミノ酸の一種であるグルタミン酸とリシンからつくられた成分です。ダメージヘアに素早く浸透し、傷んだ髪を内外から補修・保護し、毛髪にハリ・コシを与えます。

3 (加水分解シルク/PG-プロピルメチルシランジオール) クロスポリマー

毛髪補修成分 毛髪保護成分

シルクタンパク質をシリコン化させた被膜成分です。毛髪に光沢を与え、ヘアダメージの補修や、ヘアカラーの褪色を抑えます。また、適度に洗い流されることで、毛髪への付着感やごわつきを防ぎ、感触の良さが持続されます。